

様式2

令和5年度 大学との連携事業 つながる学び「みと☆Future College」実施報告書

拠点校名 水戸市立新荘小学校

連携大学 茨城大学

研究主題 他者との対話を通し、自分の考えを深めることのできる児童の育成

1 主題設定の理由

本校では、他者と対話する時間を確保し、ICTを活用することで、一人一人の考えを全体で共有する機会を増やしてきた。その結果、児童は自分の考えを広げることができるようになってきた。

しかし、児童が自分の考えを深めていくための手立てや、考えの深まりを教師が見取るための手立てが不足している現状がある。

そこで、本研究では他者と対話する時間をさらに増やし、ICTを効果的に活用することで、自分の考えを深めることのできる児童の育成を目指す。その際、教育データを利活用（教育ダッシュボードへの振り返りの蓄積、Google Classroomからの課題配信・採点結果の蓄積等）することで、児童の考えの深まりを見取ることができるようにする。これらの取組を行うことで、児童が自分の考えを深めさせることができると考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

全学年において、他者との対話時間の増加やICTの効果的な活用を通して、自分の考えを深めさせる指導の在り方を追究していく。

また、今回の大学連携事業では、「教育ダッシュボード」に蓄積された教育データの利活用について重点的に取り組む。今後、教育データの集約に強みをもつ「教育ダッシュボード」の利活用を進めていくにあたって、その効果を検証していく。

3 具体的な取組内容

- (1) 「ふりかえりログ」の蓄積
スライド8～14 参照
- (2) 「Google Classroom」からの課題配信、採点結果の蓄積
スライド15～23 参照
- (3) 「こころの健康観察」の実施
スライド24～30 参照

4 成果（進捗状況と今後の課題）

スライド31～37 参照